

# 裏千家茶道を通して、 おもてなしの心を学ぶ

サンヨー食品株式会社 代表取締役社長

井田 純一郎  
いだ じゅんいちろう



1985年立教大学社会学部卒業後、7年間の富士銀行（現みずほFG）勤務を経て、1992年サンヨー食品株式会社入社。1998年より代表取締役社長。社団法人日本即席食品工業協会理事。社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン理事。立教大学講師。

私は約一〇年前に、三六歳の若さで社長に就任いたしました。「多忙でストレスがたまりやすい社長業をこなすには、心の安らぎが得られる芸術に関する趣味を持ちたい」と思って、経営者仲間の先輩に相談したところ、その先輩から勧められて裏千家茶道の同好会に入会をさせて頂きました。

人脈も極めて幅広くなりました。人と会うこと話すことが大好きな私には最適な趣味だったのです。

それまでは芸術的な趣味を持つことが無く、趣味といえばゴルフやスキーなどのスポーツでしたので、はたして茶道に興味を持てるのかな、と半信半疑で御稽古に参加を始めました。ところが、初めての御稽古で茶道は私の心を見事につかんでしまい、あっという間に茶道の虜になってしまいました。

御稽古は、裏千家茶道名誉師範・桜井宗梅先生のもとで、月三回・午後六時から午後九時までとなります。御稽古では、茶道の作法を真剣に習うのはもちろんですが、一方で、形式にこだわらずに御客様に心の安らぎを与える『おもてなしの心』も勉強しています。

茶道を習うということは、同時に華道・書道・陶芸・礼儀作法・香道・懐石料理なども習うことになる、いわば和の総合芸術でもあり、極めて奥の深い芸術なのです。

私が社長を務めているサンヨー食品は、「サッポロ一番」ブランドの即席麺を製造販売する食品メーカーであり、日本のみならず海外でも幅広く事業展開しております。食品メーカーとして最も重要な事は、消費者に安全・安心を与える事ができるかどうかであり、消費者第一の経営を実践する上で、裏千家茶道の『おもてなしの心』が大変に役立っております。

また茶道は御客様との触れ合いの場所であり、さまざまな分野の方々とお知り合いになれるという社交の場所にもなります。実際に、裏千家茶道の交流のお陰で、私の

御稽古をしている約三時間は、静寂の中で精神統一して、心の平静に努めて、自身自身を見つめなおしております。そのお陰

で仕事に対しても精神集中ができています。

御稽古に励んだ成果として、二〇〇四年四月に歴代御家元の名前に使われる「宗」の字を取りまして「井田宗純」の茶名を授かり、同時に専任講師の資格も頂戴いたしました。

また二〇〇六年六月には日枝神社（東京都千代田区）での献茶式にて坐忘斎御家元に薄茶を点てさせて頂く名誉も頂戴いたしました。

さて今、国際化の波が日本にも押し寄せております。しかしながら、日本人は日本の文化や伝統をもっと理解して、その上で国際化を進めるべきであると思えます。そのため一つの方法として、日本の政界・財界・官界のトップが和の芸術に親しみ『おもてなしの心』を学ぶことも大切ではないでしょうか？

今後も裏千家茶道を生涯の趣味として、心の鍛錬に勤めてまいりたい所存です。

次号は、日本電波塔代表取締役社長、前田伸氏にお願いいたします。



（敬称略）小長啓一→野々内隆→根来泰周→石弘光→武藤敏郎→高橋温→増田寛也→西澤潤一→内田盛也→中原恒雄→今井敬→室伏稔→上島重二→西室泰三→依田 巽→重延浩→吉村作治→中川武→池内克史→中島秀之→元村有希子→石倉洋子→内永ゆか子→秋池玲子→富山和彦→五藤信隆→伊藤公平→吉田晃→森浩生→井田純一郎

※本コーナーは、弊会ホームページでもご覧頂けます。